

第5学年1組 道徳科学習指導案

1 主題名 わかり合うために 内容項目【B 相互理解、寛容】

2 ねらい 相手を受け入れる心を様々な視点から捉えることを通して、自分と異なる意見や立場を尊重し、広い心で人と接しようとする態度を育てる。

教材名 「ブランコ乗りとピエロ」（出典：「新編 新しい道徳5」東京書籍）

3 主題設定の理由

（1）ねらいや指導内容について

本主題の内容項目【B 主として人とのかかわりに関すること】の【11 相互理解、寛容】は、広がりと深まりのある人間関係を築くために、自分の考えを相手に伝えて相互理解を図るとともに、謙虚で広い心をもつことに関する内容項目である。

高学年の内容項目は「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心をもち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。」であり、本時の学習は、自分と違う考え方や意見を受け入れることの難しさを捉えさせることがねらいとなる。また、中学校の内容項目「自分の考え方や意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものを見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。」に繋がっていく。

高学年の発達段階では、自分のものの見方や考え方についての認識が深まることから、相手のものの見方、考え方との違いをそれまで以上に意識するようになる。また、この時期には、考え方や意見の近い者同士が接近し、そうでない者を遠ざけようとする行動が見られることがある。そのような時期だからこそ、相手の意見を素直に聞き、なぜそのような考え方をするのかを、相手の立場に立って考える態度を育てることが求められる。

指導に当たっては、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重することで、違いを生かしたよりよいものが生まれるといったよさや、相手の過ちなどに対しても、自分にも同様のことがあることとして謙虚な心、広い心で受け止め、適切に対処できるように指導することが大切である。

（2）これまでの学習状況および児童の実態について

本学級の児童は、これまでの学校生活を通して、授業での話し合い活動や、協力して活動する場面において、自分の考えを主張するだけでなく、友達の考えを受け入れようと意識する児童が多い。しかし、自分の考えに強いこだわりがあると、自分の意見を押し通そうとしたり、相手の意見を否定したりする場面も見られる。このような児童の実態を踏まえると、「相互理解、寛容」という道徳的価値について、自分の意見や立場を守るために、自己本位に陥りやすい弱さを持っていると考えられる。そこで、相手の立場になって意見や思いを知ろうとすること、自分を謙虚に見つめることについて考えさせることを通して、相手から学ぶ姿勢を常に持ち、自分と異なる意見や立場を受け止めることや、広い心で相手の過ちを許す心情や態度を育てていきたい。

（3）教材の特質や活用方法について

サークス団をまとめるリーダーのピエロと花形スターのサムは、1時間という制限で大王にサークスの演技を見てもらうことになった。日頃から、ピエロはサムのわがままな言動に腹を立てていた。当日、サムの演技が延長し、ピエロは大王の前で演技ができなかつた。しかし、ピエロは演技後に疲れ切った様子のサムを見て、サムから学ぶところがあつたことや、自分にも足りないところがあつたことに気付き、考えを変えていく。ピエロのサムを憎む気持ちが消えた場面を通して、謙虚な心、広い心で相手の立場や考えを尊重しようとする実践意欲を育てたい。

4 学習指導過程

	学習活動・発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点☆評価の視点
導入 (5)	<p>1 アンケートの結果から、これまでの「友達と考えや意見が違って困ったこと」について振り返る。</p> <p>○これまでに友達と考えや意見が違って困ったことはありますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 班で話し合うとき。みんなが意見を押し通そうとして、もめてしまった。 何で遊ぶか決めるとき。譲り合いができなくていやな雰囲気になった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">考え方や意見がちがう人とわかり合うために</div>	<ul style="list-style-type: none"> モニターにアンケート結果を映し、それぞれの経験を可視化する。 ねらいとする道徳的価値への問題意識を高める。
展開 (37)	<p>2 教材を読み、話合う。</p> <p>○カーテンの隙間からサムの演技を見上げるピエロは、どんなことを思っていたでしょう。</p> <p>○ひかえ室に集まる団員たち。ピエロは、サムに対してどんな行動に出るでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 腹が立つ。 また勝手なことをやってる。 どうして言うことを聞いてくれないんだ。 自分の出番がなくなる。 悔しい。自分も目立ちたい。 <p>責める</p> <ul style="list-style-type: none"> 勝手なことをされると困る。 サーカスは大成功でも、私たちに笑顔がないのはサムの勝手な行動のせいだ。 もっとみんなのことを考えるべきだ。 チームワークが乱れる。 <p>責めない</p> <ul style="list-style-type: none"> サムは一生懸命だった。 サーカスの大成功のためにがんばっていただけ。 サムのおかげでサーカスが大成功したのは事実。 目立ちたいと思うのは、自分も同じだった。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物のブランコ乗り（サム）とピエロを紹介し、相手の考え方や立場を理解するには何が大切な学習する意識をもたせる。 サムもピエロも「スターである」ことを再度押さえる。 サムに対する怒りと同時に、「サムなりの想いがあるのかもしれない」と、相手の立場になって考えようとするピエロの気持ちを捉えられるようにする。 「心の数直線」を用いて自分の考えを明確にさせ、さらに画面で共有して可視化することで話し合いを深められるようにする。 3人グループの話し合いにより、自分の考えを深めたり・広げたりするとともに、自信をもって自分の考えを発表できるようにする。 <p>☆「サムを理解し認める寛容さ」「自分もサムと同じだという謙虚な受け止め方」など相手を受け入れる心を多面的・多角的に捉えている。（発言）</p>

	3 自己を見つめ、振り返る。 ○相手の意見が自分と違ったとき、あなたはどうしたいですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを考えずに自分の意見を押し通すのではなく、友達の考えも受け入れたい。 ・自分のことばかり考えるではなく、相手の立場になってそんなことを思っているのか考えたい。 ・相手の考えのよさを認め合い、分かり合いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身を見つめさせることによって、ねらいとする道徳的価値についての自覚を深めさせる。 <p>☆相手の考え方や立場を尊重することについて考えを深め、これからの生活に生かしていこうとする気持ちを、振り返りシートにまとめたり発言したりしている。(ワークシート・発言)</p>
終末 (3)	4 教師の説話を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場に立ったり、お互いを理解し合ったりすることに対する考え方を深められるような話をする。

5 他の教育活動との関連

委員会活動やクラブ活動、縦割り活動、グループの話し合い活動において、自分の考え方や意見を相手に伝えたり、お互いの意見を尊重し合ったりしながら活動ができるようにする。

6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

・相手を受け入れる心を様々な視点から捉えて考えたり、発言したりしている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

・相手の意見や立場を尊重することの大切さについて考えを深め、これから的生活に生かしていこうとする気持ちを、ワークシートにまとめたり発言したりしている。

7 板書計画

